

別府市東山地区

組織の『株式会社』化による観光事業や加工品開発の取組

地区の概要

所在地：別府市東山
世帯数：151世帯
高齢化率：50%

構成集落数：5集落
人 □ □：324人

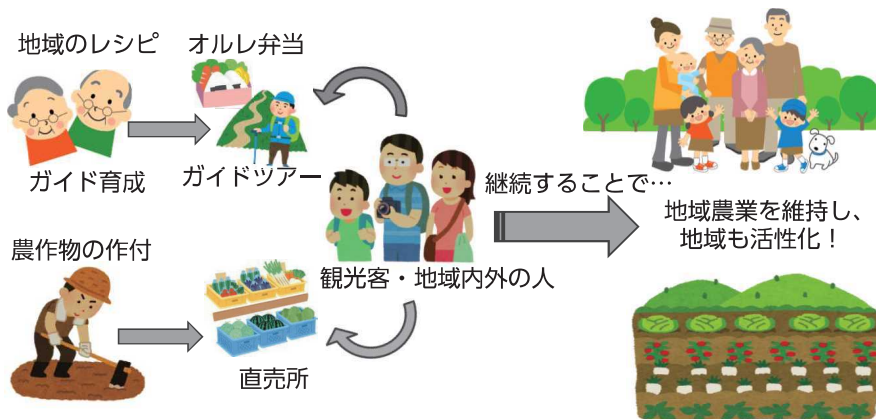
平成29年4月時点

取組のきっかけ

地域の集落営農法人が農業を支えていたが、農業従事者の高齢化や地域農業の担い手不足が深刻化し、また、農業関係以外にも移手段や自主財源の確保など、様々な地域課題を抱えていた。

そこで、より組織を安定させ、オルレコースの整備や農産物を活用した加工品開発など幅広い活動を行えるように、集落営農法人を改め、地区住民と関係者が出資した「株式会社」を設立した。

地域課題解決の取組イメージ



株式会社 東山パレット

活動拠点 別府市大字東山8番地3

施設概要 事務所、加工所

主な取組

- ①農産物の生産、販売、貯蔵
- ②農産物加工品の製造、販売
- ③農作業に必要な資材の製造、販売
- ④農作業の受託
- ⑤九州オルレ別府コースの歩道整備、ツアーガイド など



取組の検討・実施

【耕作放棄地への作付の解消】

玉ねぎやジャガイモ等を作付け、一定の収益が見込めるようになった。



【直売所の運営・検証】

農産物直売所は一定期間試験運営し、出荷量や経費等、運営の課題を把握した。



【九州オルレ弁当の開発、受注、販売】

志高湖から地区内を回る九州オルレ別府コース利用者等向けに、弁当を開発。季節毎などレシピをまとめ、受注販売にこぎつけた。



地域の声

- ・今後、ハウス栽培にも取り組みたい等、前向きな声が多くなった。
- ・会社組織として活動することで、地域の中で会話が増えた。

今後の方針

- ・九州オルレの定期的な開催により、ガイドや弁当販売の定着を図る。
- ・別府市が実施する東山巡回バスの試行運行の結果を踏まえ、移動支援や買物代行サービスのあり方の検討を行う。